

ちっこを元気に! 地域の資源を活かす

永田 昌己 議員

望し、回答を得ている。

民主党事業仕分け 教育の本質を示さず

問 事業仕分けでは教育の本質が全く国民に示されていない。学力テストにして然り、道徳教育の補助教材「心のノート」や教員免許更新制度の廃止など市民の期待に答えているとは到底思えない。その認識は。

学校教育課長 全国統一学力テストは子供一人一人の学習状況を掴み指導する上で重要。「心のノート」は配布予算の縮減として配布廃止しているが道徳教育に

おいては価値ある教材と認識している。教員免許更新制度は教員の意識改革を図る上では大変意義がある。廃止されれば現場に戸惑いが出る。

教育長 民主党は悉皆(全校)調査から抽出(部分)調査でよいとしているが福岡県では抽出で漏れた学校は県が実施する方針。学力テストの規模縮小の背景については職員組合の意向が見え隠れする。しかし教育というものは船頭が替ったからといって急に舵を切り変えることとは決して好ましくない。

問 「ちっこを元気に!」その具体的政策は。

市長 民活による住宅誘致や温泉の発掘、集客力を増す諸施設を整え広域公園の魅力を高めたい。また恵まれた土地条件を十分生かし切つてない農業の振興が重要。新規作物の開発については諸研究機関の力を借りて取り組みたい。

副市長 県美術館分館建設については地元芸術家の展示等要望。また「川の駅」については広域公園の中に山の幸、海の幸を展示販売する物産館の建設を県に要



筑後広域公園・芸術文化交流館(案)

市営住宅の条件緩和で住宅困窮者の 受け入れ確保増を

山下 秀則 議員

問 ここ数年の経済状況により市営住宅の入居希望が増加し、多数回抽選をしても当たらず、また保証人を2名確保することがなかなかできない、との声が多くなかっている。市営住宅を管轄する市として、現状をどう考えているか。また条件面の緩和を行う考えがあるか聞きたい。

市長 市営住宅の申し込み状況については、現在の不況を反映してか平成21年度で倍率6倍になっている。しかし、都市対策課によると現在12戸が入居不可というところなので、是非私も現場に行つて実態を見て、その12戸をどう市民の方々に提供できるか、そういうことも十分に検討していきたい。生活保護者に対しても、困っている方々の思いを酌んで住宅審議会でも議論していただきたい。

インターネットを活用した筑後市のPR事業の推進を

問 9月から始まったインターネット中継という動画配信ツールは、議会開催のみではなく、議場をコンサートや展示会、また防災時の活用ツールとしても利用できる。また、ニーズがあれば広告も載せることができ、収入アップにも寄与できると考えるが、システムを活用する考えはあるか。

市長 全国に向けた情報発信を有する社会的インフラとしての有効活用は重要と思つているし、検討したい。

UJターン永住支援事業で活力ある筑後市を

問 地方自治体の活力ある存続のために早くからの事業は必要と考えるが市の



改善が期待される市営住宅(常用)